

平成21年度事務事業評価シート (20年度実施事業分)

事業番号		05 04 02	中期総合計画主要施策番号		3-01	担当課	部・課	衛生部 健康づくり支援課		
事業名		8020運動推進特別事業					内線	2636		
							E-mail	kenko@pref.nagano.jp		
事業の概要等	事業の目的	県民の健康に繋がる口腔の健康管理を推進するため、「80歳で20本以上の歯を保とう」という8020運動の積極的な普及啓発を行うとともに、歯科保健事業の円滑な推進体制の整備を図る。								
	事業の必要性	[現状(事業の目的との間にどのようなギャップがあるか)] ・近年、歯周病が様々な全身の病気(糖尿病・心筋梗塞・脳梗塞など)と関連があることが判明した。 ・成人の口腔衛生に対する認識が低い状況にある。 [原因分析(ギャップが発生している原因は何か)] 職場等での定期歯科健診の普及率が低いため、ひとり一人の自己管理に頼らざるを得ない状況にある。 口腔衛生に対する認識が未だ高くはない。 [課題の特定(事業の実施により解決しようとする課題は何か)] ・歯科保健を生活習慣として位置づけるため、地域ごとに8020運動を推進していく。 ・各世代ごとに口腔の健康管理の課題、問題点を示し、その普及啓発を図る必要がある。								
		事業内容	・地域における歯科保健推進のリーダーとして期待できる8020推進員の育成 ・各世代における歯科における問題点、課題を認識した「口腔機能の育成・向上」支援事業 ・円滑かつ効率的な事業推進を図るための8020運動推進運営委員会の開催 補助率(国) 10/10							
			実施期間	H12 ~	根拠法令等	8020運動推進特別事業実施要綱				
	成果と達成状況	事業の目指す成果		達成度(期待どおり)の判定基準(H20)			達成状況		評価	
	8020運動を推進し、口腔の健康管理を推進する。		・8020推進員育成研修会を開催し、概ね前年並み(300人)の推進員を認定する。 ・県民を対象に8020運動の研修会を開催し、普及啓発を行う。			・H20年度8020推進員を349人認定し、地域における8020運動の推進を図った。 ・県民対象研修会を開催し420人の参加を得て、8020運動の普及啓発を図った。		a.期待以上 b.期待どおり c.やや下回る d.期待以下		
事業コスト	区 分		単位	19年度	20年度	21年度(当初)	20年度の概要			
	最終予算額 (A)		千円	9,319	8,874	7,124	国庫・県単	国庫		
	決 算 額 (B)		千円	9,319	8,874		実施方法	委託、直接		
	B(H21はA)のうち一般財源		千円	0	0	0	歳出節別内訳等	委託料:8,597 報償費:205 費用弁償:72		
	概 算 人件費	従事する職員数	人	0.40	0.40	0.30	(単位:千円)			
	概算人件費 (C)		千円	2,856	2,860	2,145				
概算事業費 (B(H21はA)+C)		千円	12,175	11,734	9,269					
事業実績	内 容		単位	19年度	20年度	21年度(予定)	左記以外の20年度の実績			
	8020推進員の育成		人	300	349	200	ライフステージごとに継続した口腔機能の育成・向上の重要性を認識するための啓蒙、及び歯科保健普及のための情報提供			
	こども8020推進員の育成		人	367	837	1000				
	県民の8020運動研修会への参加		人	450	420	500				
事業の課題	区 分		判 定 ・ 説 明							
	事業のニーズの変化		増加	横ばい	減少	判定の説明	歯科保健をとりまく現状に基づいて展開する事業であり、県の歯科保健事業の柱である。			
	県の関与を見直す余地		余地なし	当面余地なし	余地あり					
	有効性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり					
	効率性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり					
	課題の総括		8020推進員の育成により、住民参加型の地域ボランティア活動の展開が期待されるが、引き続き事業継続が必要である。							